

令和元年度佐久市の取り組みへの  
満足度・重要度及び  
住みやすさ感・健康感・幸福感  
に関する市民アンケート

報 告 書

(令和元年8月5日～9月6日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	4
III	質問ごとの内容	24
IV	全体・男女別集計	107
V	調査票	116



佐久市



# I 調査の設計

## 1 アンケート調査の目的

社会経済情勢や市民ニーズの変化に対応した行政評価を行い、今後の施策の方向性の判断や事業の選択と集中を進めるために、市民が今までの市の取り組みに満足しているのか、また実施してきた事業等を今後も必要としているのかといった意見や意向を、前回調査（平成 30 年）からの経年変化を踏まえて把握することを目的とする。また、施策の柱の一つとして「世界最高健康都市の構築」を掲げていることから、市民の「住みやすさ感」、「健康感」、「幸福感」に関する意識等を把握することも目的とする。

## 2 調査の設計

- 調査対象

市内に住所を有する 16 歳以上の男女 1,000 人

- 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

- 調査方法

郵送

- 調査期間

令和元年 8 月 5 日～9 月 6 日

- 有効回答

514 人（回収率 51.4%） 男性 223 人 女性 291 人

- 集計・分析

一般社団法人長野県世論調査協会

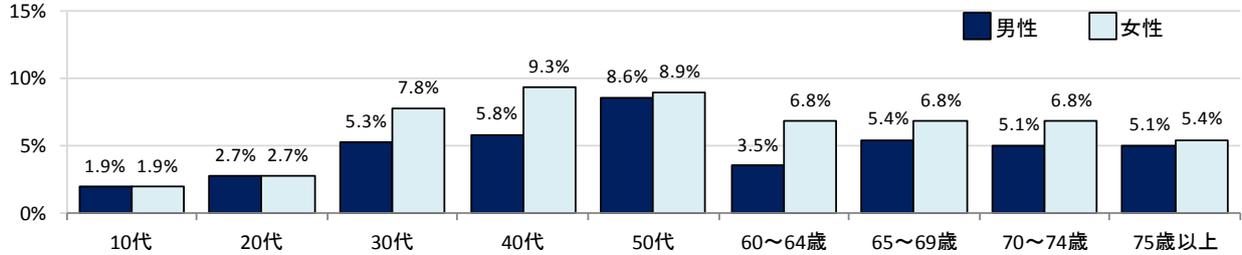
<注> 報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

## 回収サンプルの内訳

### 【性別と年代】

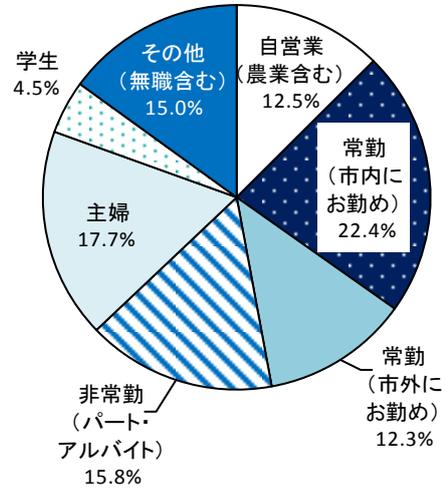
回答者数（人） 回答割合（％）

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	514	20	28	67	78	90	53	63	61	54
	100.0%	3.9%	5.4%	13.0%	15.2%	17.5%	10.3%	12.3%	11.9%	10.5%
男性	223	10	14	27	30	44	18	28	26	26
	43.4%	1.9%	2.7%	5.3%	5.8%	8.6%	3.5%	5.4%	5.1%	5.1%
女性	291	10	14	40	48	46	35	35	35	28
	56.6%	1.9%	2.7%	7.8%	9.3%	8.9%	6.8%	6.8%	6.8%	5.4%



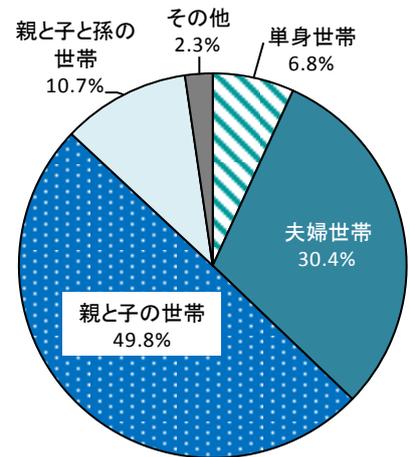
### 【職業】

自営業（農業含む）	64	12.5%
常勤（市内にお勤め）	115	22.4%
常勤（市外にお勤め）	63	12.3%
非常勤（パート・アルバイト）	81	15.8%
主婦	91	17.7%
学生	23	4.5%
その他（無職含む）	77	15.0%



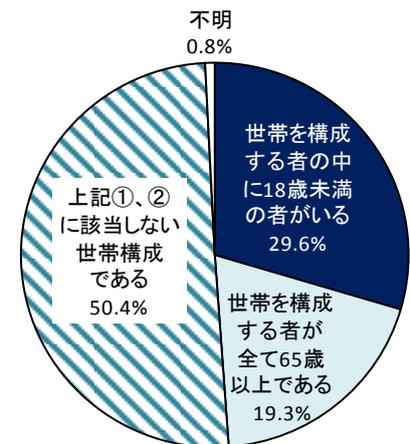
### 【世帯構成(その1)】

単身世帯	35	6.8%
夫婦世帯	156	30.4%
親と子の世帯	256	49.8%
親と子と孫の世帯	55	10.7%
その他	12	2.3%



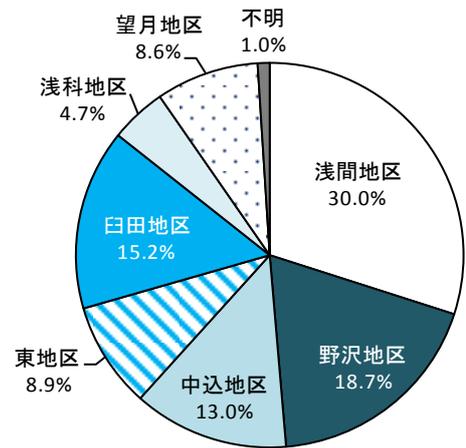
### 【世帯構成(その2)】

世帯を構成する者の中に18歳未満の者がいる	152	29.6%
世帯を構成する者が全て65歳以上である	99	19.3%
上記①、②に該当しない世帯構成である	259	50.4%
不明	4	0.8%



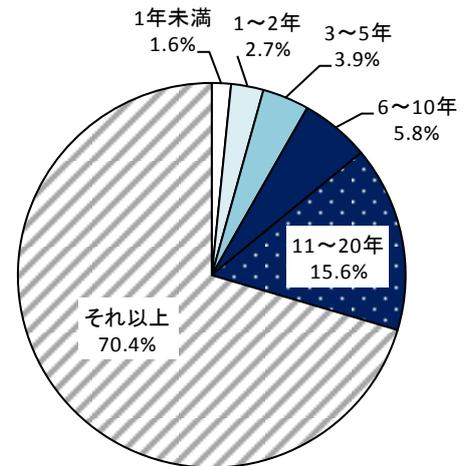
【お住まいの地域】

浅間地区	154	30.0%
野沢地区	96	18.7%
中込地区	67	13.0%
東地区	46	8.9%
臼田地区	78	15.2%
浅科地区	24	4.7%
望月地区	44	8.6%
不明	5	1.0%



【佐久市の在住年数】

1年未満	8	1.6%
1～2年	14	2.7%
3～5年	20	3.9%
6～10年	30	5.8%
11～20年	80	15.6%
それ以上	362	70.4%



## II 結果の概要

### ▽佐久市の主要施策への満足度・重要度

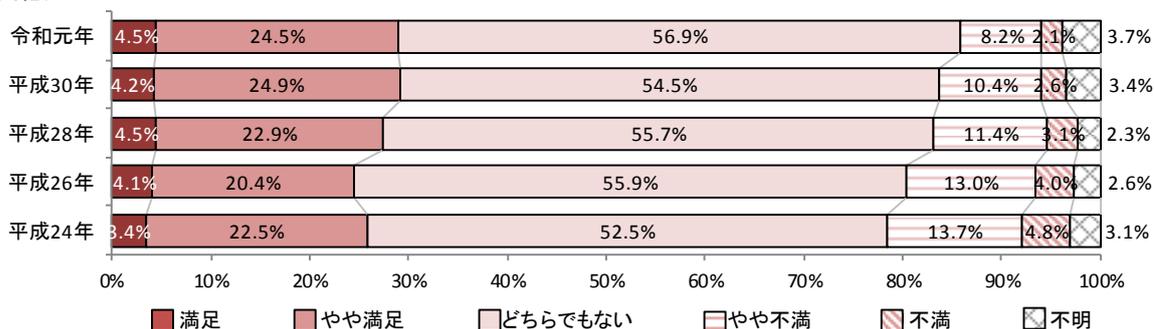
#### 施策の分野別満足度

施策の満足度を7分野、49項目について分野ごとに集計した。「満足」と「やや満足」の合計が多いのは「防災」の32.0%で、2番目に多かったのは「環境」の31.5%。

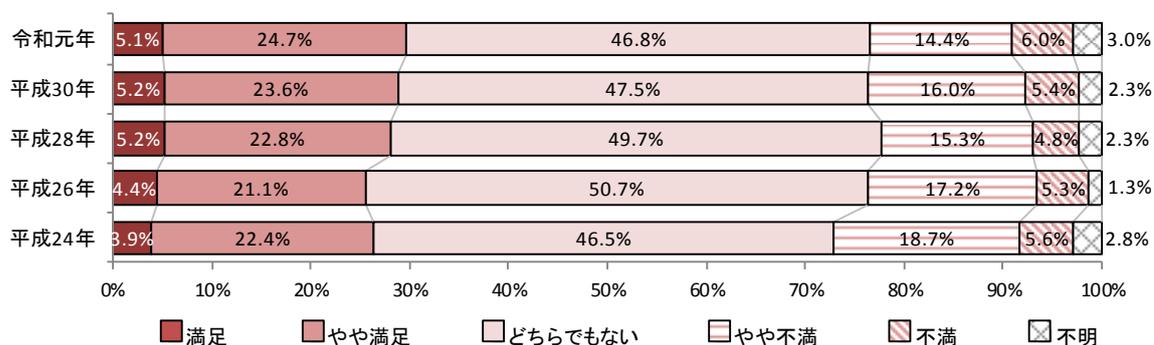
前回調査と比較すると、「経済・産業」で「満足」と「やや満足」の合計が1.6ポイント増加している。

「不満」と「やや不満」の合計が多かったのは「土地利用・都市基盤」の20.4%。

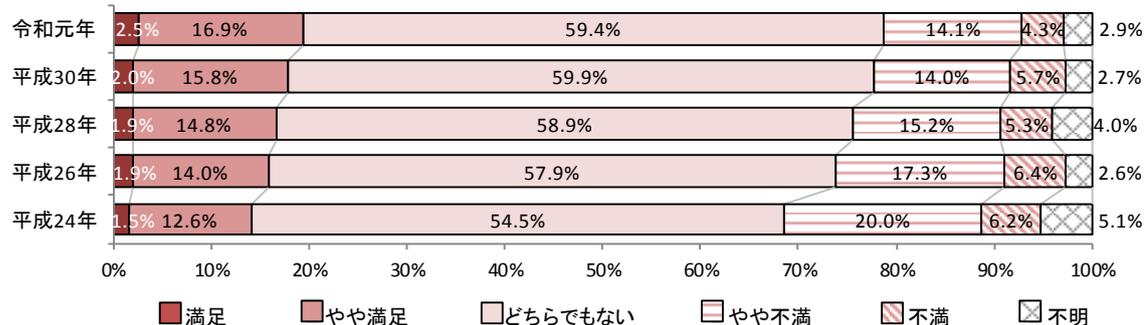
#### <教育・文化>



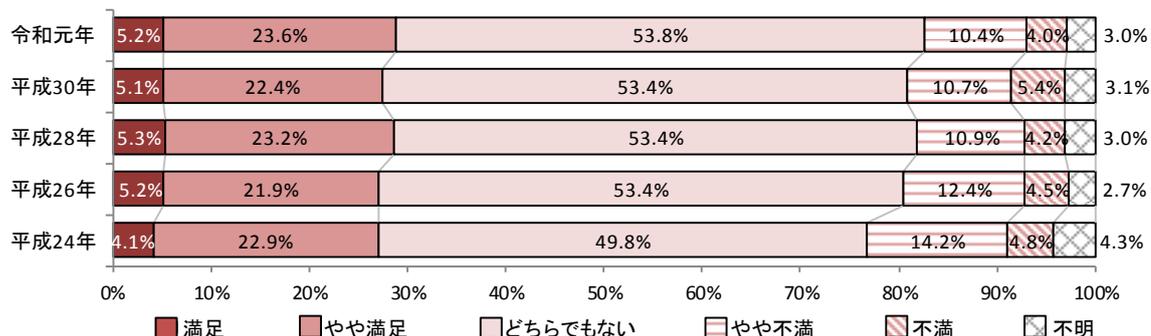
#### <土地利用・都市基盤>



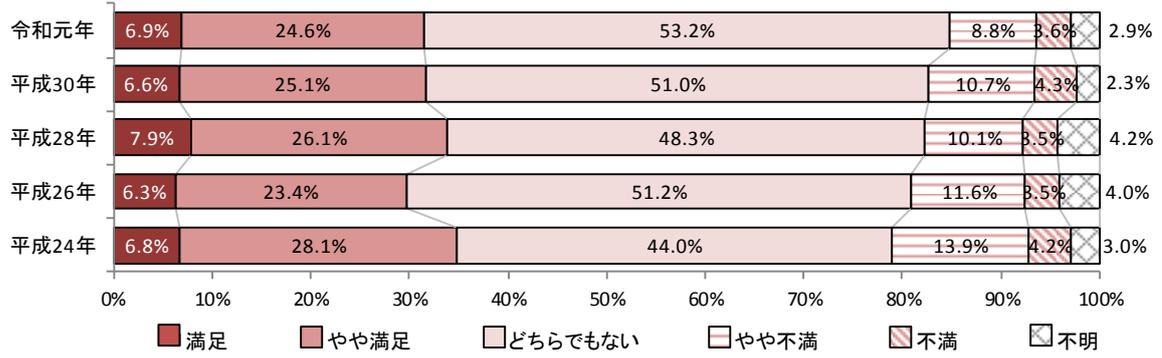
#### <経済・産業>



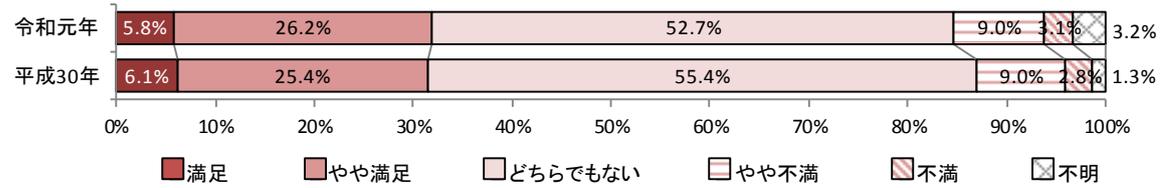
#### <保健・医療・福祉>



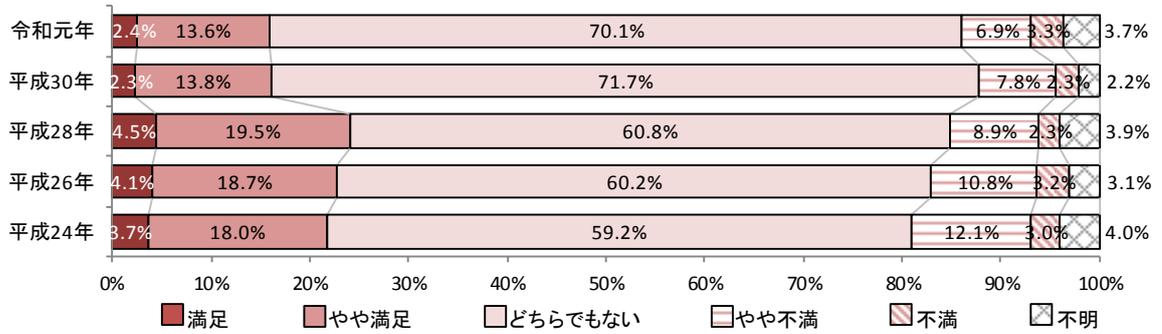
<環境>



<防災・安全>



<市民生活・協働・交流>

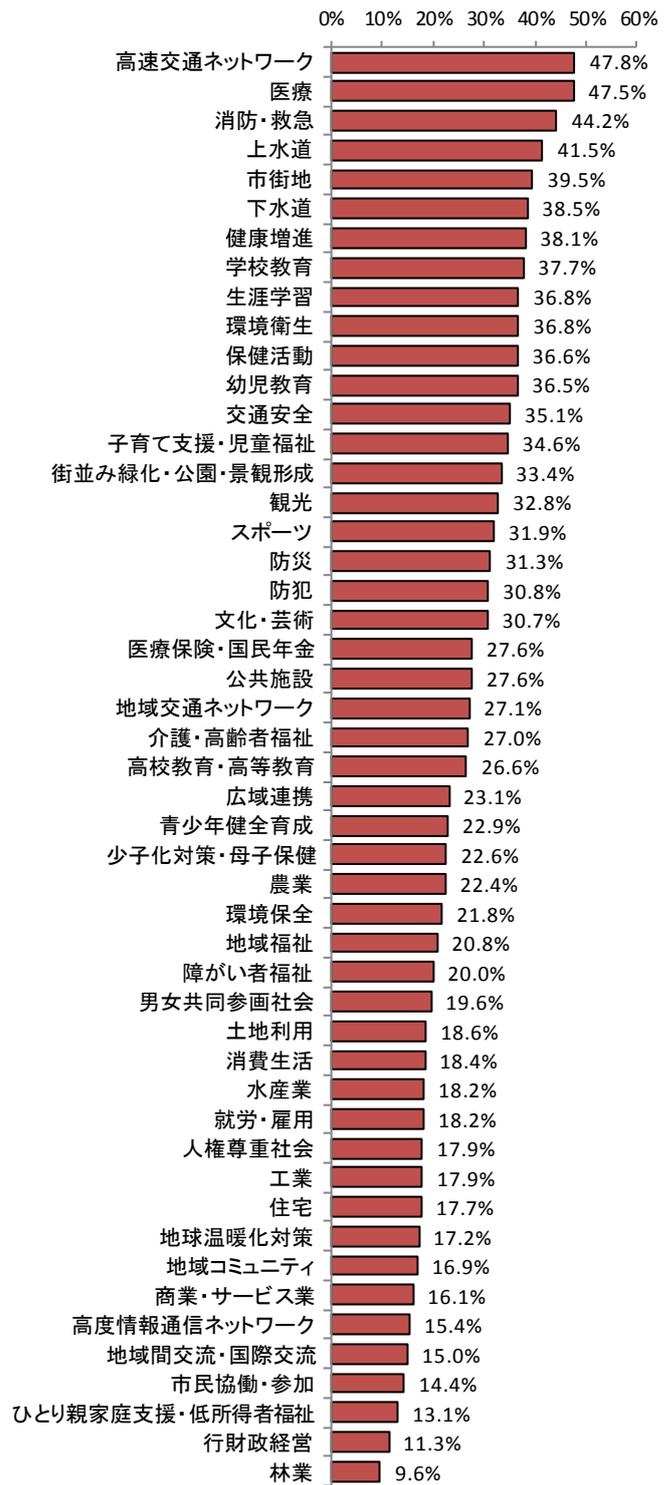
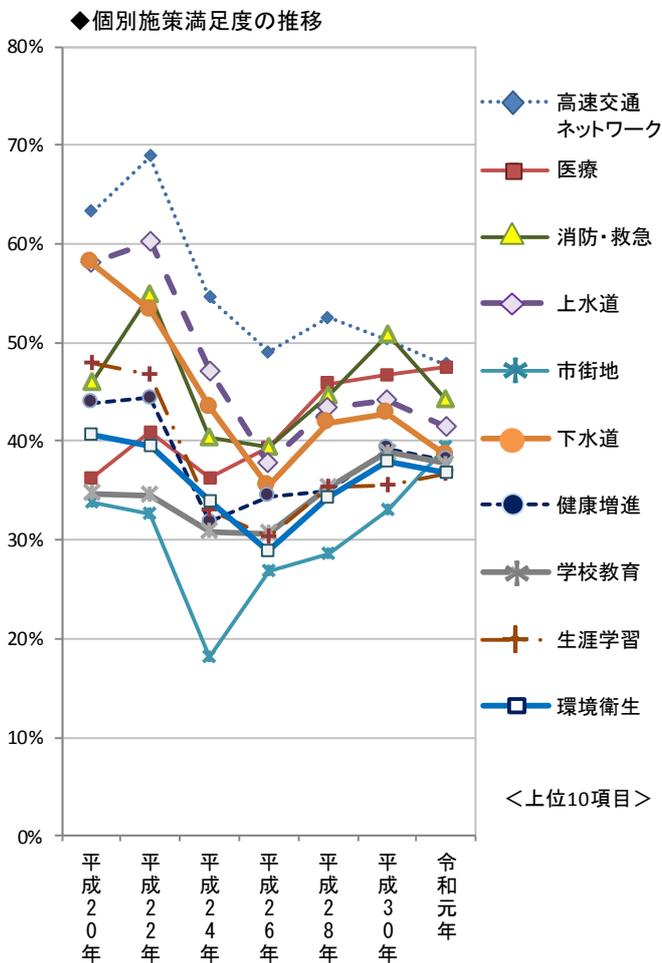


(注) グラフのパーセント数字は各分野に含まれる全項目の平均。7ページの分野別重要度も同様。

## 個別施策の満足度

各施策の満足度で最も高かったのは「高速交通ネットワーク」で、「満足」と「やや満足」を合わせて47.8%。2番目に高かったのは「医療」の47.5%で、以下「消防・救急」、「上水道」、「市街地」と続く。

前回調査との比較では、「市街地」が6.5ポイント増加、「消防・救急」が6.6ポイント減少しているのが目立つ。



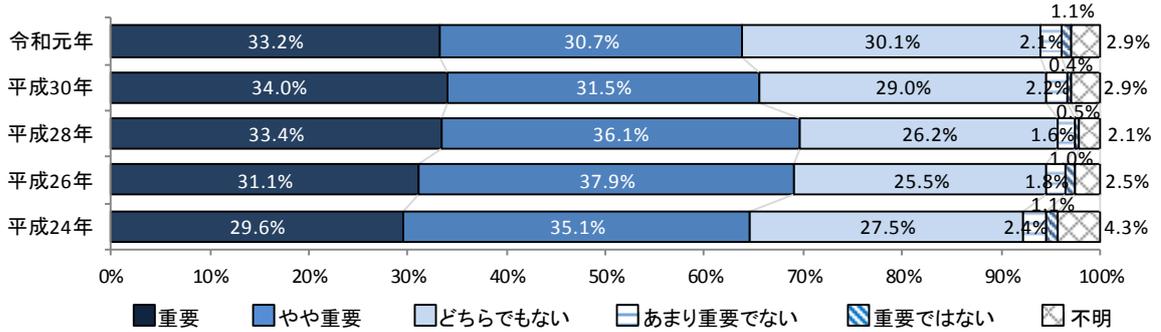
(注) グラフのパーセント数字は「満足」と「やや満足」の合計

## 施策の分野別重要度

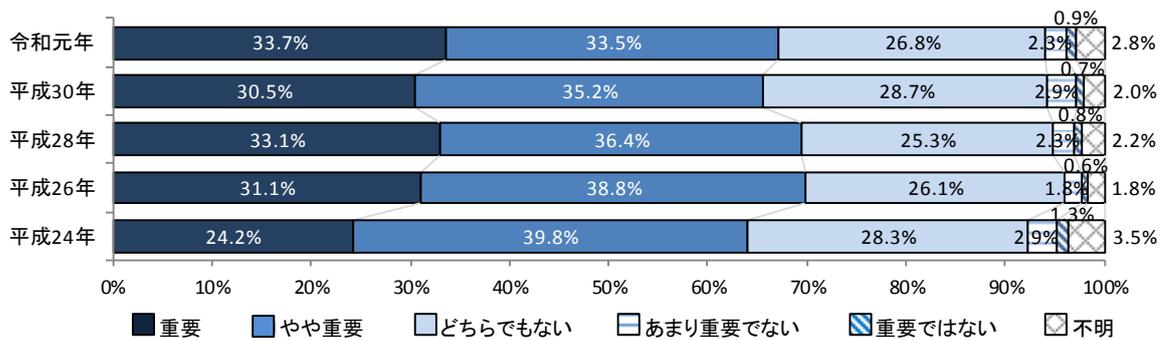
施策の重要度について分野別集計で「重要」と「やや重要」を合わせた割合が最も高かったのは「保健・医療・福祉」の76.0%で、「防災・安全」が74.5%で続く。

前回調査と比べると「土地利用・都市基盤」、「保健・医療・福祉」、「環境」、「防災・安全」、「市民生活・協働・交流」で「重要」の回答が増加している。

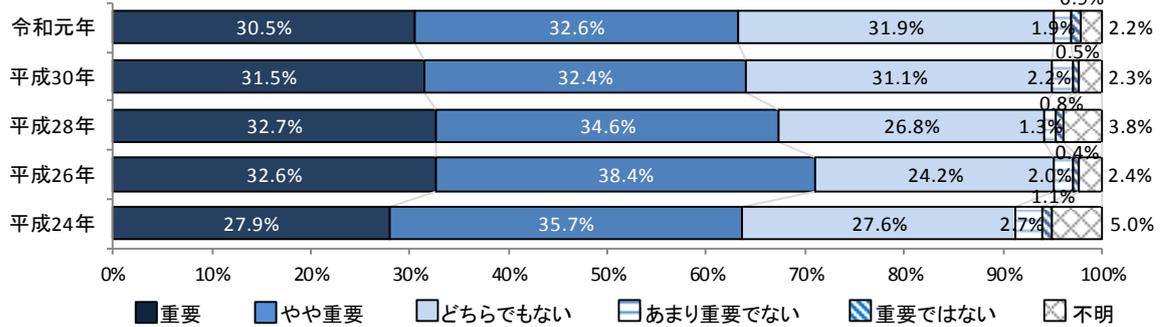
### <教育・文化>



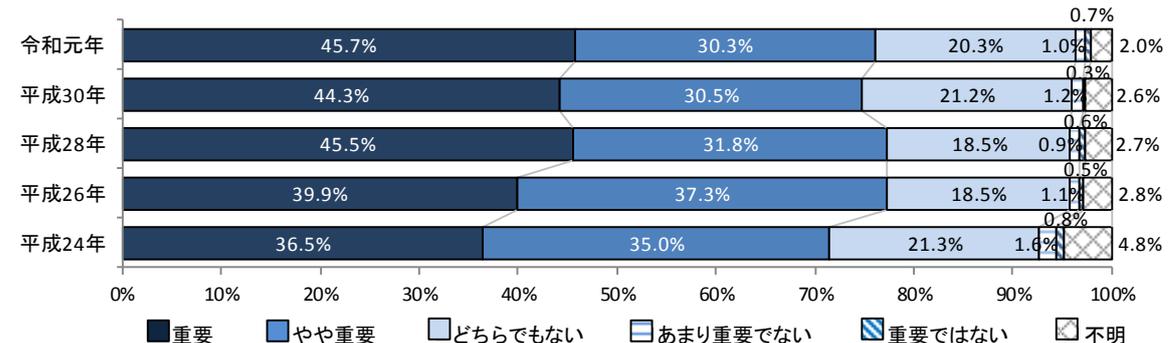
### <土地利用・都市基盤>



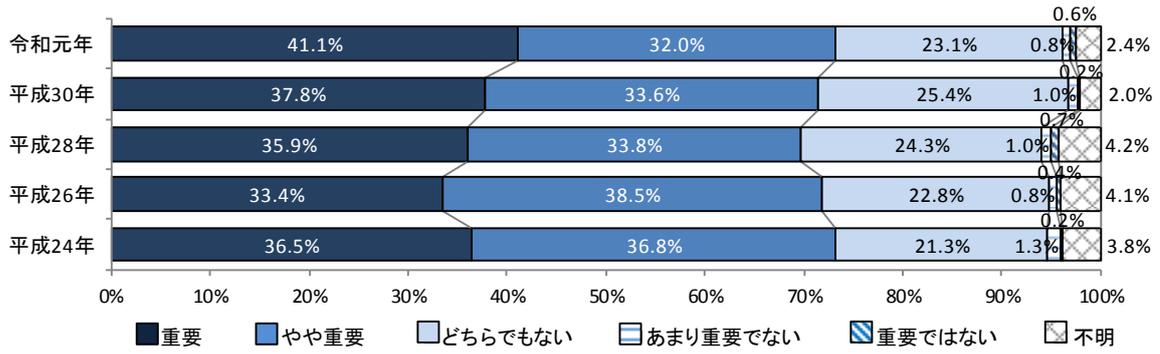
### <経済・産業>



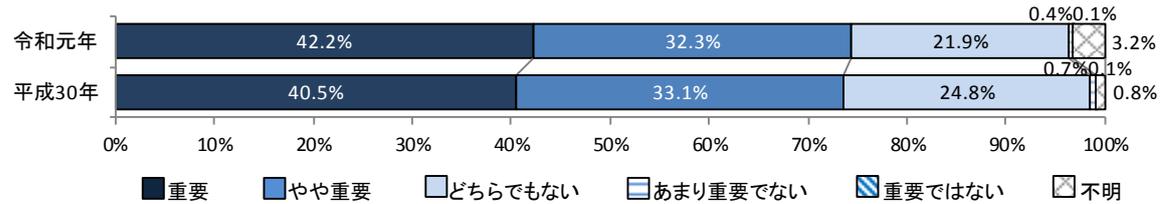
### <保健・医療・福祉>



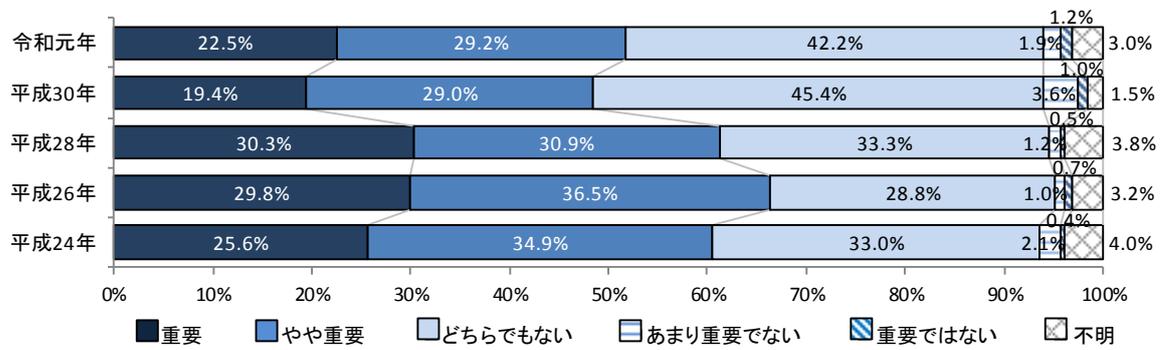
<環境>



<防災・安全>



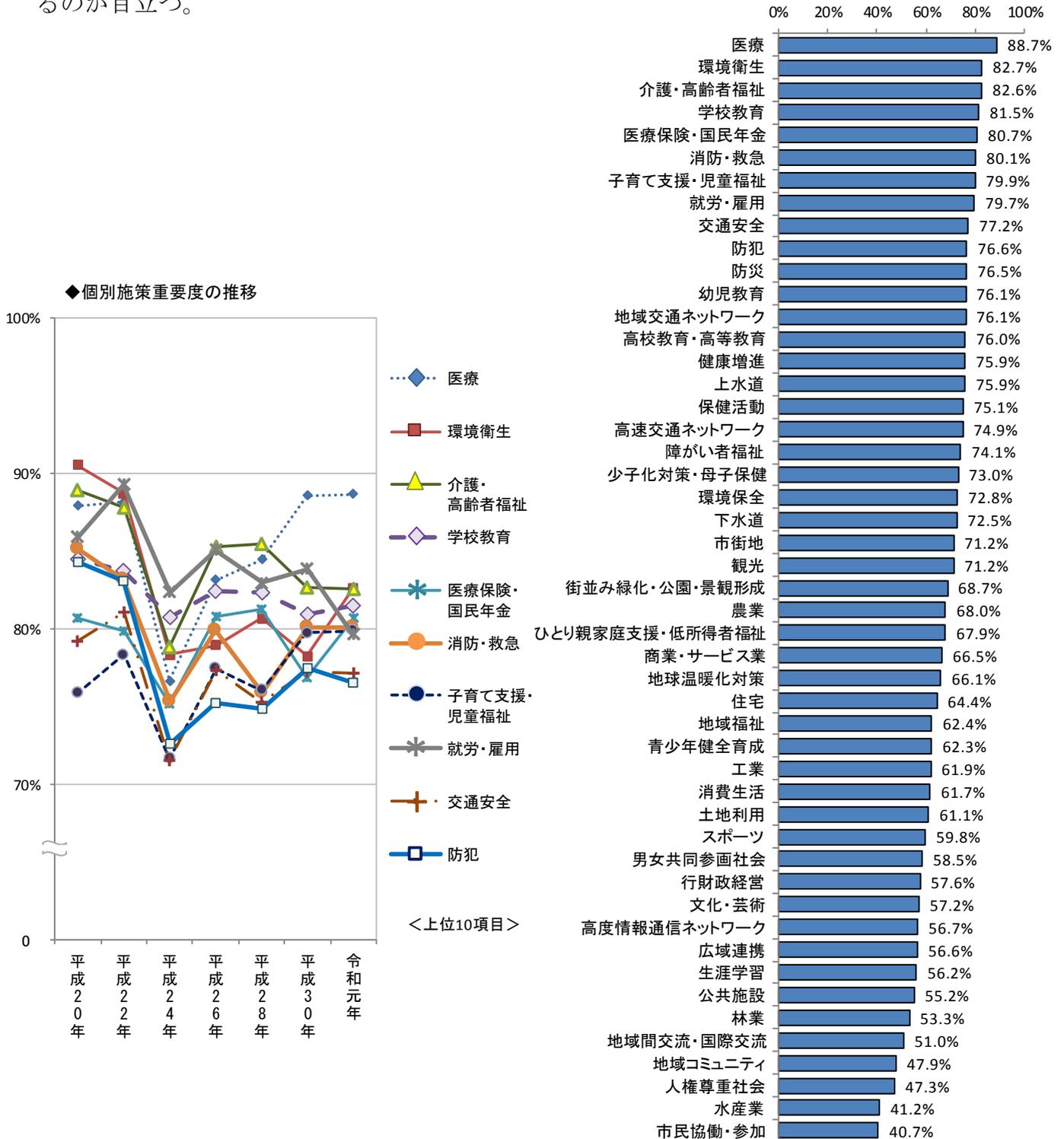
<市民生活・協働・交流>



## 個別施策の重要度

施策の重要度で「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは「医療」の88.7%。2番目に高かったのは「環境衛生」の82.7%で、3番目以降は「介護・高齢者福祉」、「学校教育」、「医療保険・国民年金」。

前回調査との比較では、「環境衛生」が4.4ポイント、「医療保険・国民年金」が3.8ポイント増加している。前回調査で2番目に高かった「就労・雇用」が6つ順位を下げているのが目立つ。



(注) グラフのパーセント数字は「重要」と「やや重要」の合計

## 各施策の満足度・重要度の平均値比較

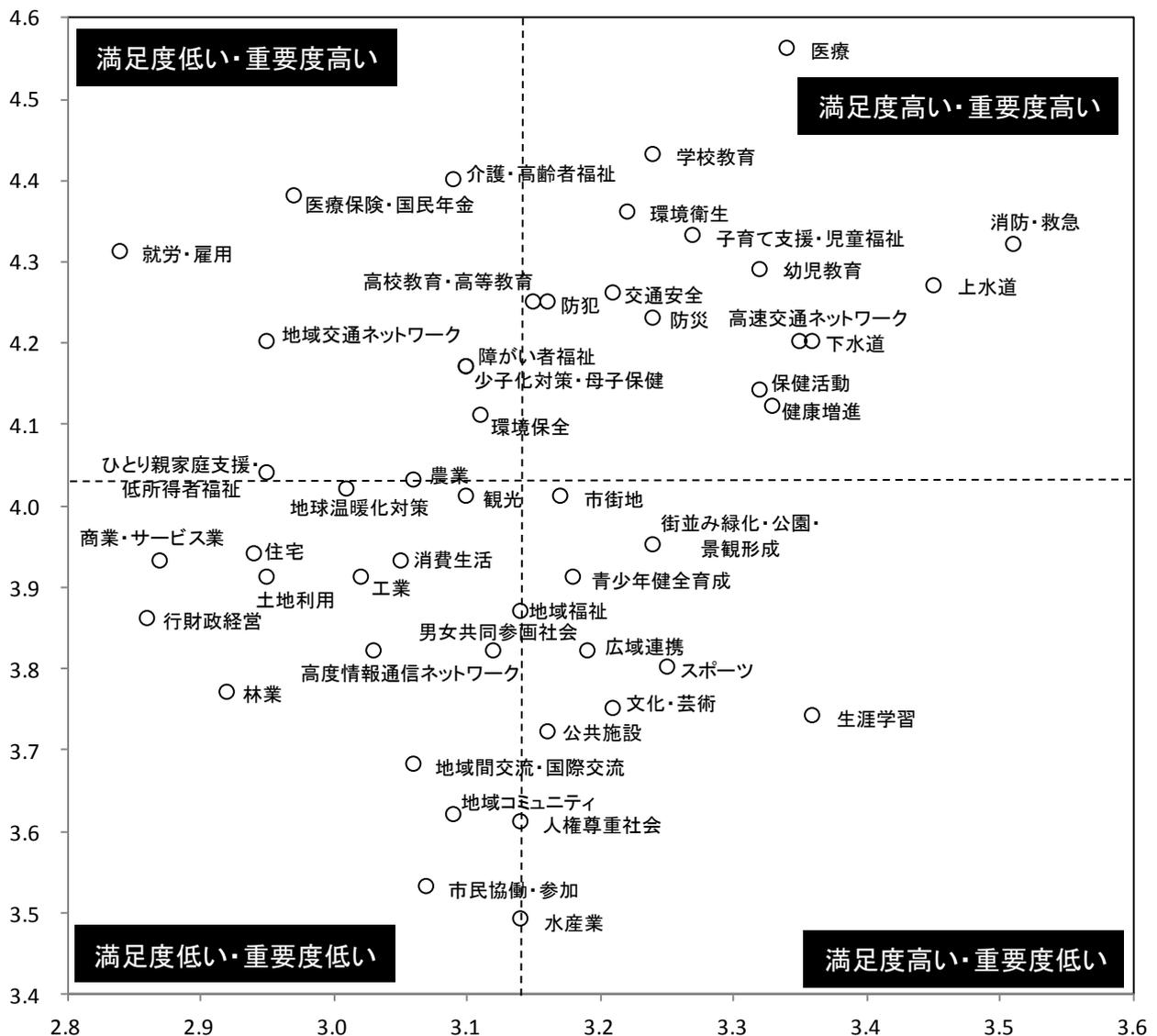
下の図は各施策の満足度・重要度を得点化し、全回答者の平均値をプロットしたもので、横軸は満足度、縦軸は重要度である。点線は全質問の平均値（満足度 3.14、重要度 4.03）を表している。

4分割されているグラフの向かって右上が満足度・重要度がともに高い項目で、左上は満足度が低く重要度が高い項目、右下は満足度は高いが重要度が低い項目、左下は満足度、重要度ともに低い項目である。

最も満足度が高いのは「消防・救急」の平均点 3.51 で、2番目は「上水道」(3.45)。3番目以降は「生涯学習」(3.36)、「下水道」(3.36)、「高速交通ネットワーク」(3.35)と続く。満足度が低かったのは「就労・雇用」(2.84)、「行財政経営」(2.86)、「商業・サービス業」(2.87)、「林業」(2.92)。

重要度では「医療」が 4.56 で最も高く、2番目以降は「学校教育」(4.43)、「介護・高齢者福祉」(4.40)、「医療保険・国民年金」(4.38)。重要度が低かったのは「水産業」(3.49)、「市民協働・参加」(3.53)、「人権尊重社会」(3.61)、「地域コミュニティ」(3.62)だった。

(注)「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として平均点を集計した。



## 各施策の平均値

<満足度>	令和元年	平成30年	平成28年	平成26年	平成24年	平成22年	平成20年	
消防・救急	3.51	3.58	3.52	3.39	3.40	3.46	3.25	*1
上水道	3.45	3.45	3.47	3.38	3.45	3.59	3.50	*2
生涯学習	3.36	3.29	3.32	3.25	3.25	3.33	3.39	
下水道	3.36	3.38	3.42	3.31	3.37	3.37	3.50	*2
高速交通ネットワーク	3.35	3.47	3.46	3.40	3.45	3.75	3.68	
医療	3.34	3.37	3.33	3.23	3.11	2.93	2.75	*3
健康増進	3.33	3.29	3.32	3.31	3.25	3.25	3.21	*4
幼児教育	3.32	3.32	3.21	3.04	3.13	2.79	2.82	*5
保健活動	3.32	3.28	3.19	3.30	3.23			
子育て支援・児童福祉	3.27	3.16	3.20	3.13	3.20	3.30	3.39	*6
スポーツ	3.25	3.13	3.17	3.15	3.02	3.04	3.11	
学校教育	3.24	3.27	3.16	3.14	3.02	2.79	2.82	*5
街並み緑化・公園・景観形成	3.24	3.12	3.17	3.10	2.93	2.84	2.85	*8
防災	3.24	3.25	3.26	3.25	3.13	3.46	3.25	*1
環境衛生	3.22	3.18	3.18	3.08	3.16	2.82	2.81	*7
文化・芸術	3.21	3.13	3.12	2.93	2.99	3.02	3.10	
交通安全	3.21	3.16	3.16	3.07	3.16	3.18	3.15	
広域連携	3.19	3.17	3.24	3.07	3.04			
青少年健全育成	3.18	3.13	3.15	3.06	3.04	2.97	2.98	
市街地	3.17	3.10	2.99	2.94	2.80	2.91	2.96	*16
公共施設	3.16	3.01	3.09	3.02	2.93			
防犯	3.16	3.13	3.10	3.05	3.07	2.93	2.86	
高校教育・高等教育	3.15	3.16	3.02	3.03	2.99			
人権尊重社会	3.14	3.14	3.15	3.09	3.08	3.14	3.10	*9
水産業	3.14	3.08	3.08	3.08	3.01	3.19	2.80	*13
地域福祉	3.14	3.09	3.10	3.00	3.07	3.03	2.96	*19
男女共同参画社会	3.12	3.07	3.10	3.03	3.10	2.93		
環境保全	3.11	3.06	3.05	3.04	3.07	2.90	2.71	*15
観光	3.10	3.03	3.03	2.89	2.85	2.65	2.90	
障がい者福祉	3.10	3.01	3.06	3.01	2.99	2.84	2.85	
少子化対策・母子保健	3.10	3.01	3.22	3.24	3.14			*20
介護・高齢者福祉	3.09	3.08	3.09	2.97	3.00	2.79	2.83	*12
地域コミュニティ	3.09	3.08	3.08	3.05	3.05			*22
市民協働・参加	3.07	3.10	3.10	3.15	3.10	3.16	3.12	*21
農業	3.06	3.00	3.01	2.92	2.93	2.44	2.41	
地域間交流・国際交流	3.06	3.05	3.07	3.04	3.01	3.03	3.15	
消費生活	3.05	3.04	3.10	3.09	3.04	2.94	2.84	*11
高度情報通信ネットワーク	3.03	3.05	3.10	3.02	3.01	3.16	3.09	*10
工業	3.02	3.00	2.98	2.86	2.82	2.56	2.75	
地球温暖化対策	3.01	2.98						
医療保険・国民年金	2.97	2.92	3.07	3.01	2.82	2.91	2.74	*14
土地利用	2.95	2.93	2.99	2.87	2.82			
地域交通ネットワーク	2.95	3.05	2.97	3.03	3.06	2.72	2.74	
ひとり親家庭支援・低所得者福祉	2.95	2.92	2.92	2.91	2.94	2.75	2.75	*17
住宅	2.94	2.89	3.01	2.88	2.88	2.91	2.96	*16
林業	2.92	2.86	2.85	2.88	2.84	2.57	2.80	*13
商業・サービス業	2.87	2.84	2.87	2.85	2.86	2.50	2.55	
行財政経営	2.86	2.92	2.92	2.87	2.84	2.64	2.57	*23
就労・雇用	2.84	2.80	2.67	2.64	2.46	2.03	2.26	*18

- \*1 平成22年は「防災・消防」と聞いた
- \*2 平成20年は「上水道、下水道」と聞いた
- \*3 平成22年は「地域医療」と聞いた
- \*4 平成22年は「健康づくり」と聞いた
- \*5 平成22年は「学校教育・幼児教育」と聞いた
- \*6 平成22年は「子育て支援」と聞いた
- \*7 平成22年は「ごみ・リサイクル」と聞いた
- \*8 平成22年は「街並み・景観」と聞いた
- \*9 平成20年は「差別のない社会」と聞いた
- \*10 平成22年は「情報化」と聞いた
- \*11 平成22年は「消費者生活」と聞いた
- \*12 平成22年は「高齢者の福祉」、平成24年・26年・28年は「高齢者福祉・介護保険」と聞いた

- \*13 平成20年は「林業・水産業」と聞いた
- \*14 平成22年は「国民健康保険」と聞いた
- \*15 平成20年は「自然環境・生活環境」と聞いた
- \*16 平成22年は「市街地・住宅地」、平成24年・26年・28年は「住宅・宅地」と聞いた
- \*17 平成22年は「一人親家庭・低所得者の福祉」、平成24年は「母子父子福祉」、平成26年と28年は「母子父子福祉・低所得者福祉」と聞いた
- \*18 平成22年は「働く機会・働く環境」と聞いた
- \*19 平成28年は「福祉のまちづくり」と聞いた
- \*20 平成24年・26年・28年は「母子保健」と聞いた
- \*21 平成20年・22年・24年・26年・28年は「協働のまちづくり」と聞いた
- \*22 平成24年・26年・28年は「コミュニティの育成」と聞いた
- \*23 平成20年・22年・24年・26年・28年は「行財政」と聞いた

<重要度>	令和元年	平成30年	平成28年	平成26年	平成24年	平成22年	平成20年	
医療	4.56	4.54	4.44	4.31	4.27	4.57	4.74	*3
学校教育	4.43	4.41	4.39	4.34	4.39	4.48	4.55	*5
介護・高齢者福祉	4.40	4.40	4.43	4.40	4.29	4.52	4.59	*12
医療保険・国民年金	4.38	4.28	4.36	4.28	4.24	4.32	4.49	*14
環境衛生	4.36	4.24	4.32	4.19	4.21	4.52	4.62	*7
子育て支援・児童福祉	4.33	4.34	4.29	4.18	4.10	4.21	4.32	*6
消防・救急	4.32	4.29	4.24	4.25	4.21	4.44	4.46	*1
就労・雇用	4.31	4.42	4.42	4.39	4.38	4.64	4.57	*18
幼児教育	4.29	4.25	4.30	4.23	4.25	4.48	4.55	*5
上水道	4.27	4.19	4.20	4.15	4.27	4.36	4.36	*2
交通安全	4.26	4.21	4.24	4.17	4.09	4.31	4.29	
高校教育・高等教育	4.25	4.29	4.32	4.22	4.25			
防犯	4.25	4.21	4.22	4.18	4.10	4.38	4.43	
防災	4.23	4.21	4.21	4.26	4.14	4.44	4.46	*1
高速交通ネットワーク	4.20	4.06	4.18	4.19	4.00	4.09	4.27	
地域交通ネットワーク	4.20	4.10	4.17	4.18	4.00	4.22	4.27	
下水道	4.20	4.14	4.16	4.12	4.15	4.34	4.36	*2
障がい者福祉	4.17	4.15	4.24	4.20	4.14	4.36	4.33	
少子化対策・母子保健	4.17	4.24	4.08	4.04	4.07			*20
保健活動	4.14	4.14	4.15	4.16	3.95			
健康増進	4.12	4.12	4.03	3.97	3.88	4.00	4.25	*4
環境保全	4.11	4.09	3.82	4.03	4.07	4.31	4.51	*15
ひとり親家庭支援・低所得者福祉	4.04	4.03	4.10	4.01	3.90	4.15	4.18	*17
農業	4.03	4.06	4.09	4.15	4.00	4.40	4.42	
地球温暖化対策	4.02	4.03						
市街地	4.01	3.93	4.06	4.08	3.80	3.82	3.88	*16
観光	4.01	4.03	4.04	4.09	3.88	3.98	3.95	
街並み緑化・公園・景観形成	3.95	3.88	3.89	3.93	3.91	4.05	4.12	*8
住宅	3.94	3.96	3.94	3.88	3.79	3.82	3.88	*16
商業・サービス業	3.93	3.94	4.01	4.02	3.86	4.15	4.19	
消費生活	3.93	3.79	3.91	3.96	3.80	4.12	4.20	*11
青少年健全育成	3.91	4.03	4.02	3.95	4.08	4.26	4.42	
土地利用	3.91	3.92	3.87	3.87	3.80			
工業	3.91	3.98	4.06	4.09	4.02	4.18	4.14	
地域福祉	3.87	3.81	4.30	4.28	4.16	4.18	4.35	*19
行財政経営	3.86	3.74	3.91	3.97	3.87	4.43	4.55	*23
男女共同参画社会	3.82	3.83	4.02	4.05	3.91	3.94		
高度情報通信ネットワーク	3.82	3.71	3.83	3.79	3.74	3.84	3.68	*10
広域連携	3.82	3.67	3.75	3.78	3.56			
スポーツ	3.80	3.78	3.89	3.78	3.76	3.85	3.90	
林業	3.77	3.75	3.89	3.87	3.77	4.16	3.97	*13
文化・芸術	3.75	3.82	3.80	3.91	3.75	3.56	3.93	
生涯学習	3.74	3.78	3.89	3.78	3.77	3.78	4.01	
公共施設	3.72	3.64	3.71	3.74	3.69			
地域間交流・国際交流	3.68	3.62	3.79	3.84	3.51	3.55	3.90	
地域コミュニティ	3.62	3.57	3.60	3.67	3.57			*22
人権尊重社会	3.61	3.75	3.83	3.80	3.69	3.76	3.97	*9
市民協働・参加	3.53	3.50	3.50	3.69	3.65	3.79	3.89	*21
水産業	3.49	3.44	3.55	3.61	3.47	3.59	3.97	*13

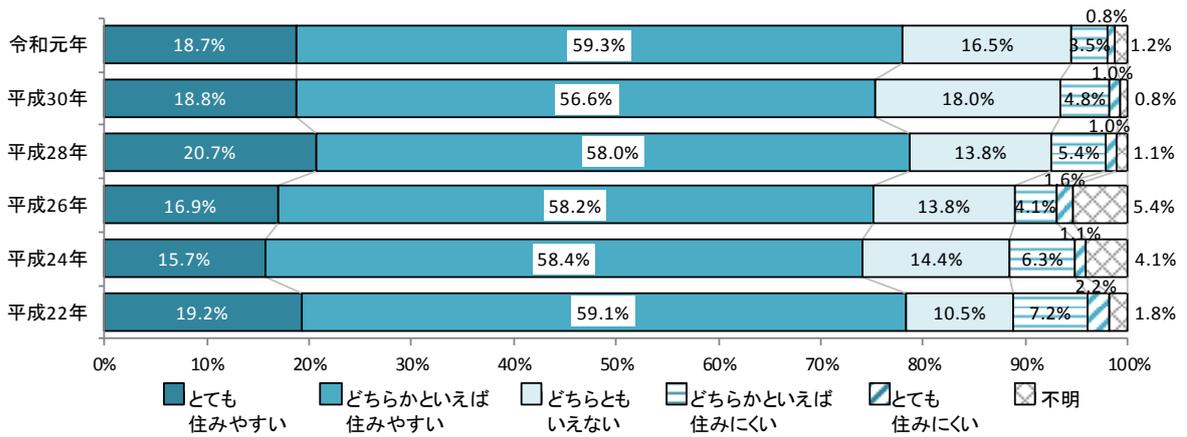
\*1 平成22年は「防災・消防」と聞いた  
\*2 平成20年は「上水道、下水道」と聞いた  
\*3 平成22年は「地域医療」と聞いた  
\*4 平成22年は「健康づくり」と聞いた  
\*5 平成22年は「学校教育・幼児教育」と聞いた  
\*6 平成22年は「子育て支援」と聞いた  
\*7 平成22年は「ごみ・リサイクル」と聞いた  
\*8 平成22年は「街並み・景観」と聞いた  
\*9 平成20年は「差別のない社会」と聞いた  
\*10 平成22年は「情報化」と聞いた  
\*11 平成22年は「消費者生活」と聞いた  
\*12 平成22年は「高齢者の福祉」、平成24年・26年・28年は「高齢者福祉・介護保険」と聞いた

\*13 平成20年は「林業・水産業」と聞いた  
\*14 平成22年は「国民健康保険」と聞いた  
\*15 平成20年は「自然環境・生活環境」と聞いた  
\*16 平成22年は「市街地・住宅地」、平成24年・26年・28年は「住宅・宅地」と聞いた  
\*17 平成22年は「一人親家庭・低所得者の福祉」、平成24年は「母子父子福祉」、平成26年と28年は「母子父子福祉・低所得者福祉」と聞いた  
\*18 平成22年は「働く機会・働く環境」と聞いた  
\*19 平成28年は「福祉のまちづくり」と聞いた  
\*20 平成24年・26年・28年は「母子保健」と聞いた  
\*21 平成20年・22年・24年・26年・28年は「協働のまちづくり」と聞いた  
\*22 平成24年・26年・28年は「コミュニティの育成」と聞いた  
\*23 平成20年・22年・24年・26年・28年は「行財政」と聞いた

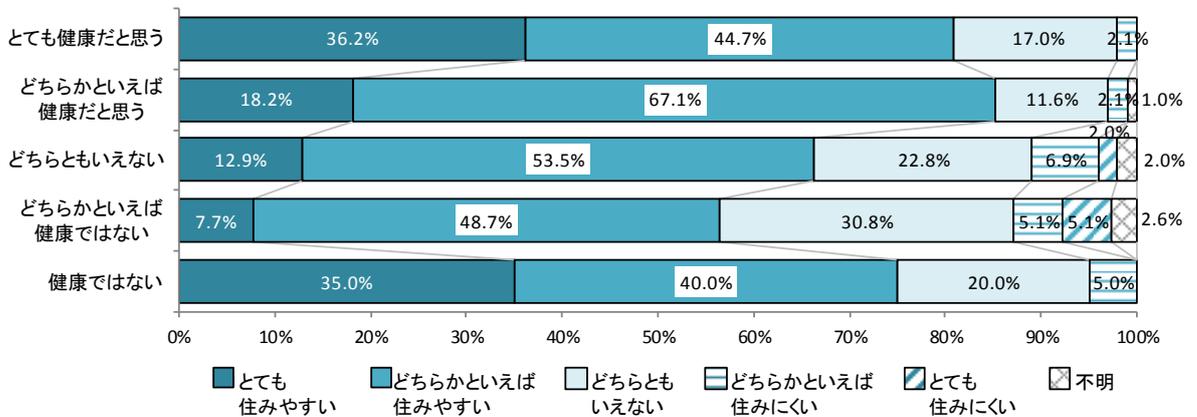
# ▽「世界最高健康都市の構築」に向けて

## 佐久市の住みやすさ

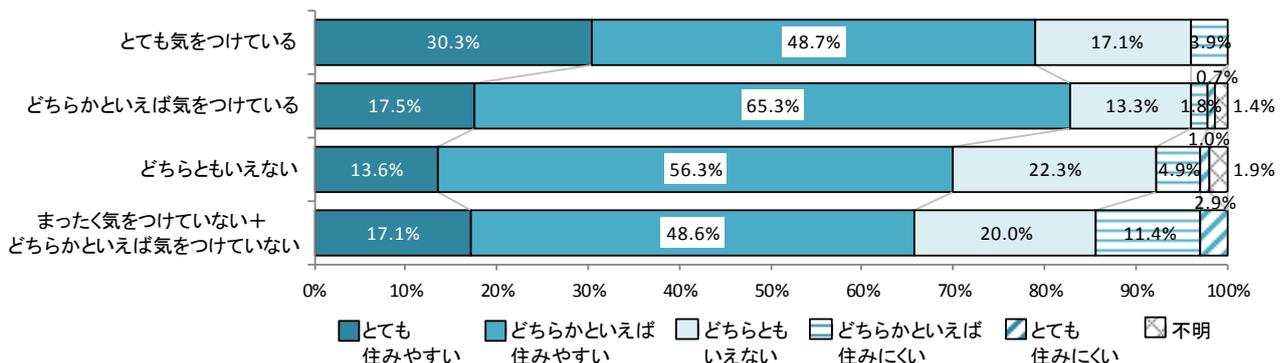
佐久市を「とても住みやすい」と答えたのは18.7%で、「どちらかといえば住みやすい」の59.3%と合わせると78.0%。前回調査の75.4%より2.6ポイント高い。「とても住みにくい」は0.8%、「どちらかといえば住みにくい」は3.5%で合わせて4.3%。過去5回の調査と比べて6回中、最も低かった。



### ◆健康感について～現在、健康だと思うか



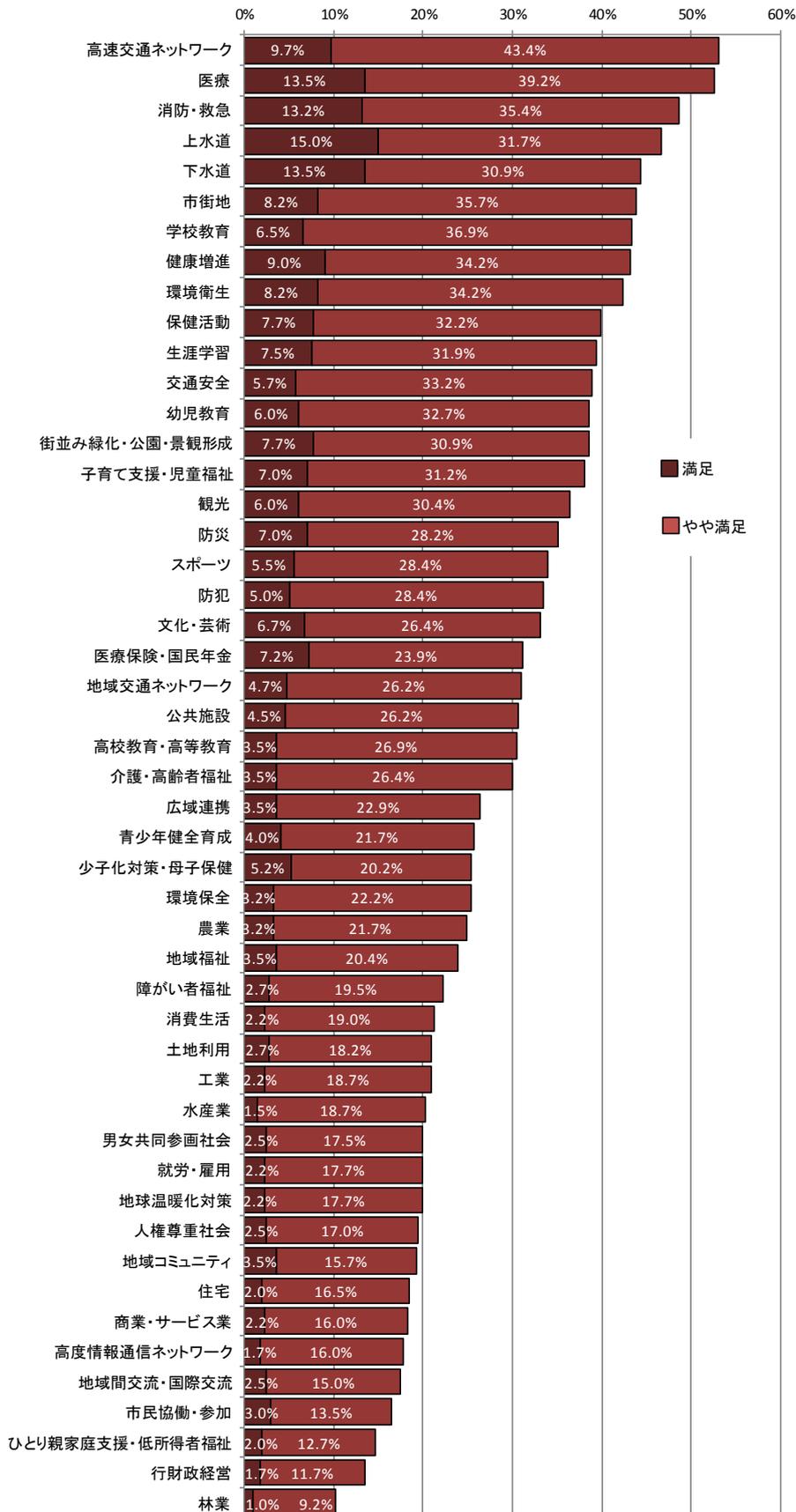
### ◆健康感について～健康に気をつけているか



## 施策と住みやすさの相関

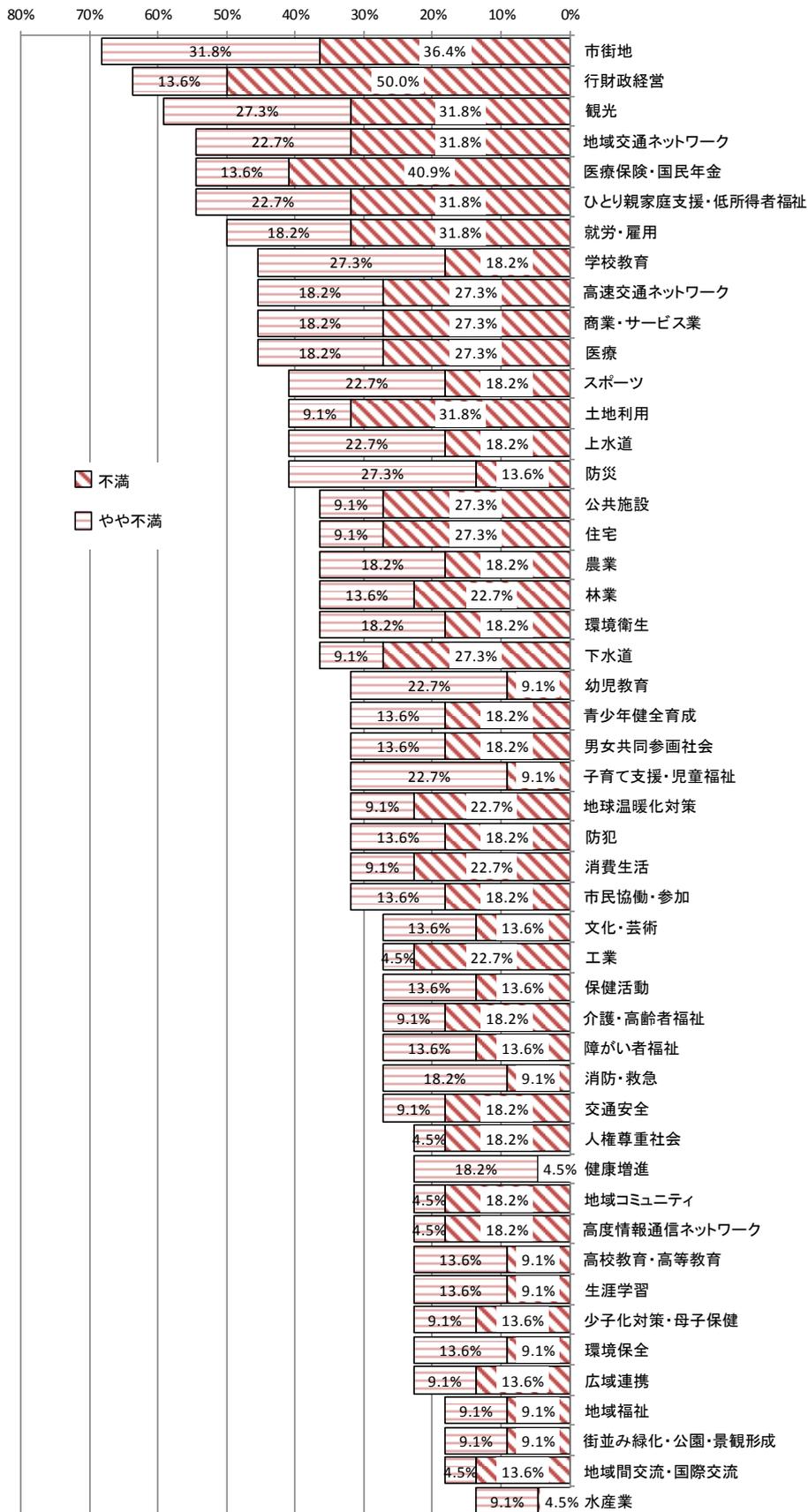
住みやすい（「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）と答えた人の評価が高い施策

「満足」「やや満足」の回答率が高い順



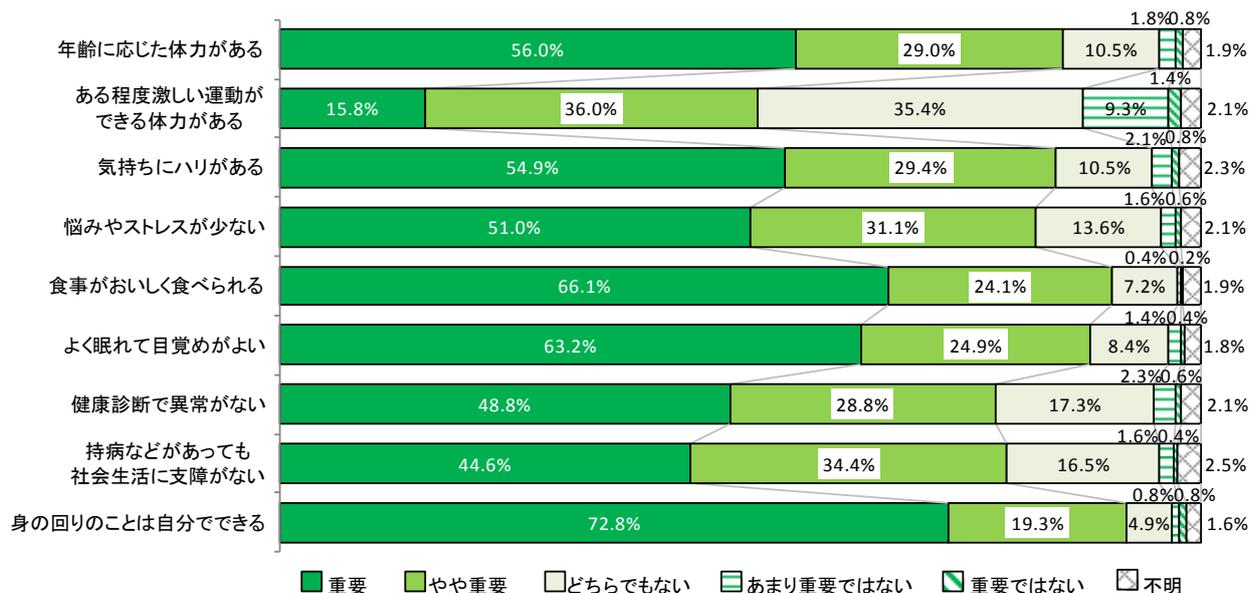
住みにくい（「とても住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）と答えた人の評価が低い施策

「不満」「やや不満」の回答率が高い順

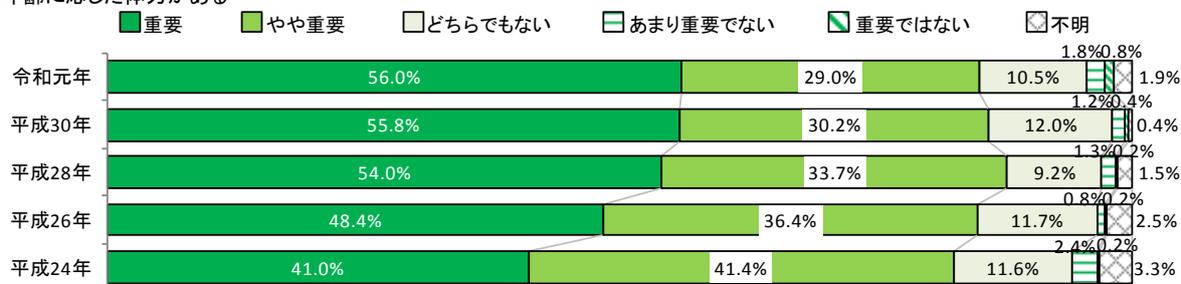


## 健康上重要だと思うこと

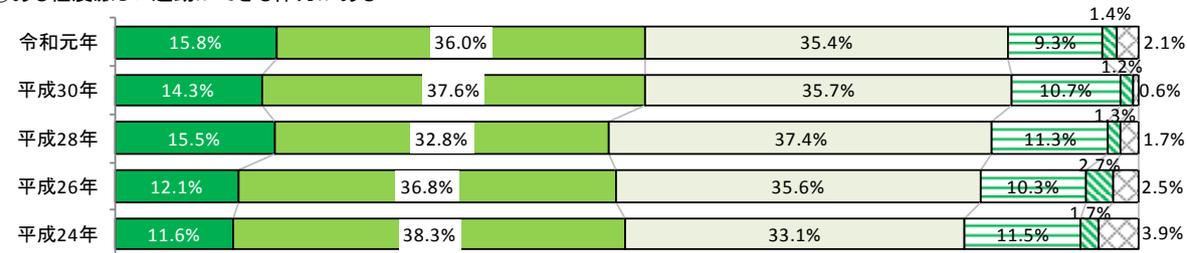
健康の状態をイメージするとき重要だと思うことは何か、9項目で尋ねた。「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは「身の回りのことは自分でできる」の92.1%で、2番目は「食事がおいしく食べられる」の90.2%。以下「よく眠れて目覚めがよい」(88.1%)、「年齢に応じた体力がある」(85.0%)、「気持ちにハリがある」(84.3%)と続く。前回調査との比較では大きな変動は見られない。



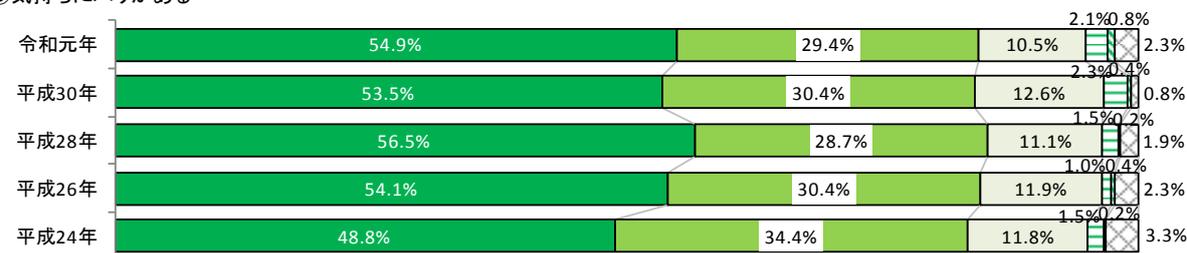
### ①年齢に応じた体力がある



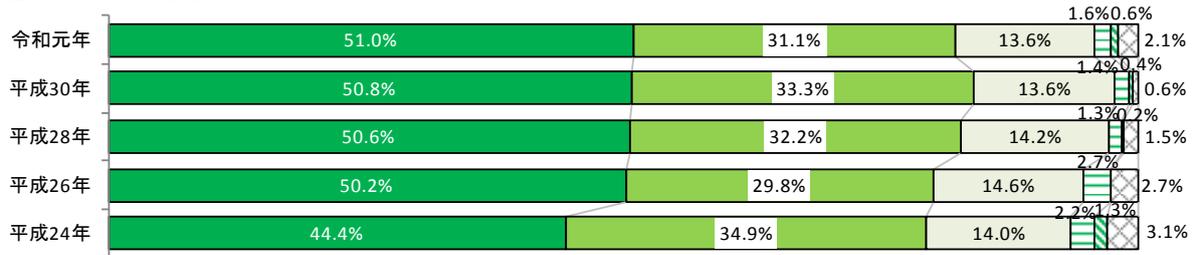
### ②ある程度激しい運動ができる体力がある



### ③気持ちにハリがある



④悩みやストレスが少ない



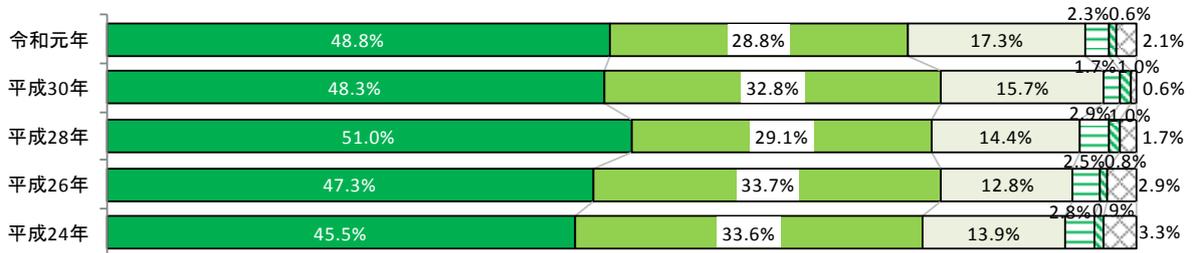
⑤食事がおいしく食べられる



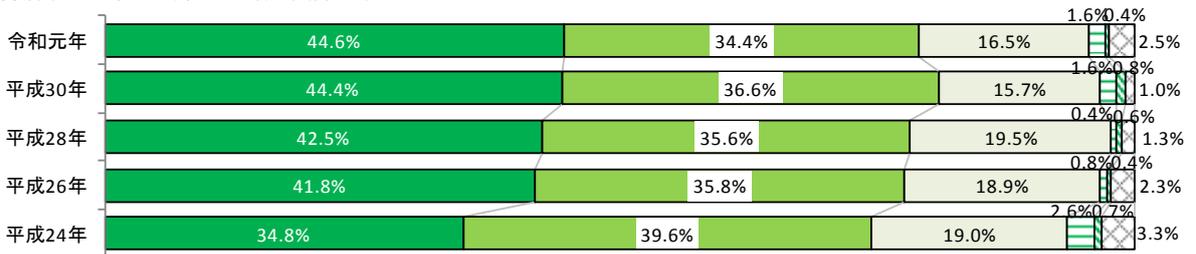
⑥よく眠れて目覚めがよい



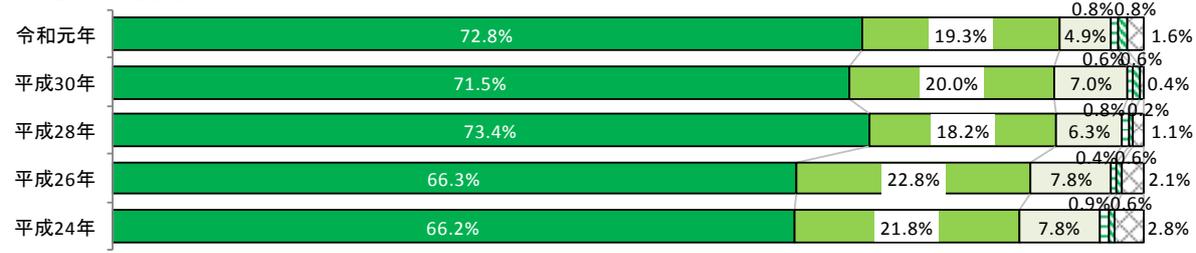
⑦健康診断で異常がない



⑧持病などがあっても社会生活に支障がない



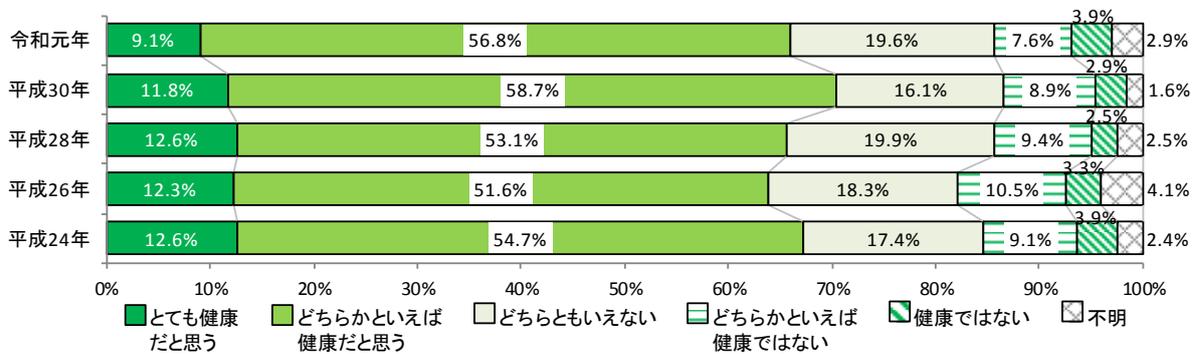
⑨身の回りのことは自分ができる



■重要   ■やや重要   □どちらでもない   □あまり重要でない   □重要ではない   □不明

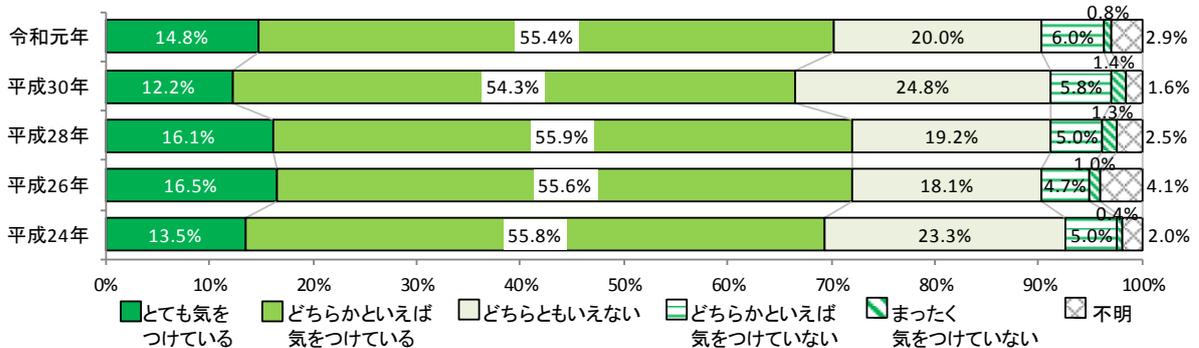
## 健康感

自分の健康についてどう思っているか尋ねた。「とても健康だと思う」は9.1%で「どちらかといえば健康だと思う」の56.8%と合わせて65.9%。前回調査から4.6ポイント減少した。



## 健康に気をつけているか

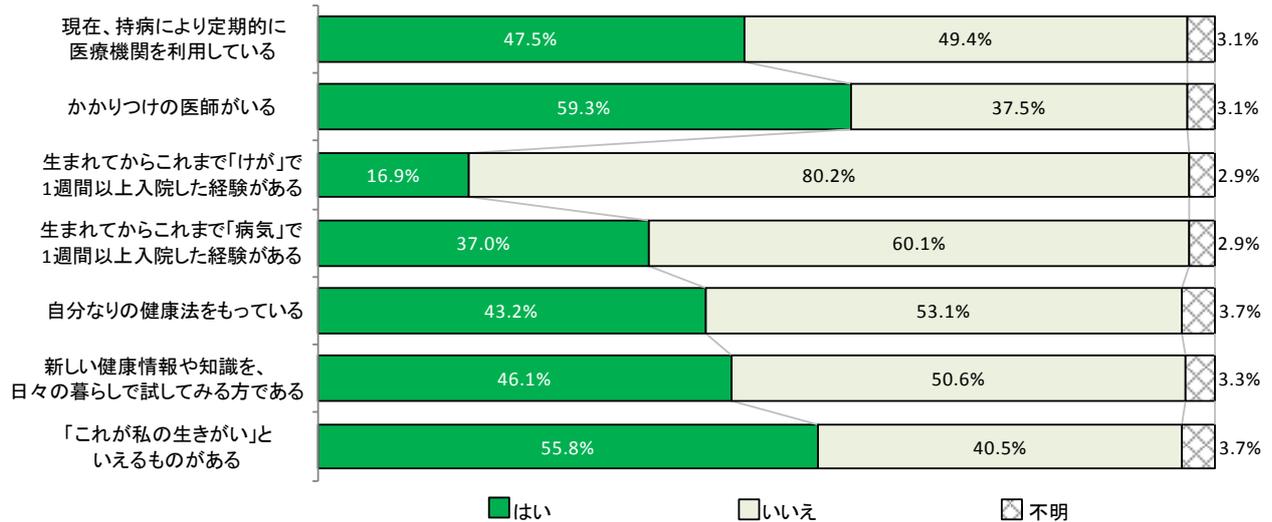
「とても気をつけている」と答えたのは14.8%で、「どちらかといえば気をつけている」の55.4%と合わせて70.2%。前回調査より3.7ポイント上昇した。「まったく気をつけていない」は0.8%、「どちらかといえば気をつけていない」は6.0%。



## 健康状態と意識

健康状態や意識について、7項目にわたり「はい」「いいえ」で聞いた。「はい」の最多は「かかりつけの医師がいる」の59.3%で、2番目は「『これが私の生きがい』といえるものがある」の55.8%。

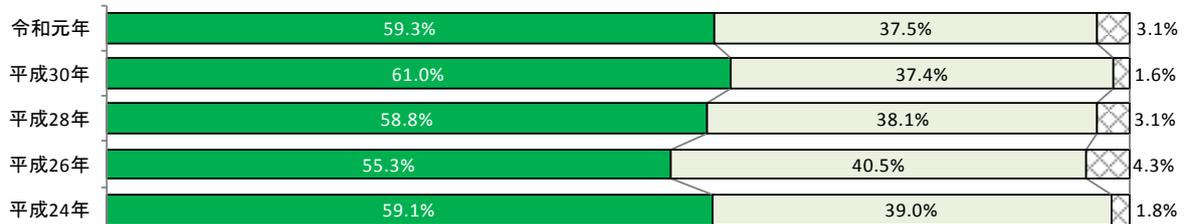
前回調査との比較では「新しい健康情報や知識を、日々の暮らしで試してみる方である」が6.0ポイント減少している。



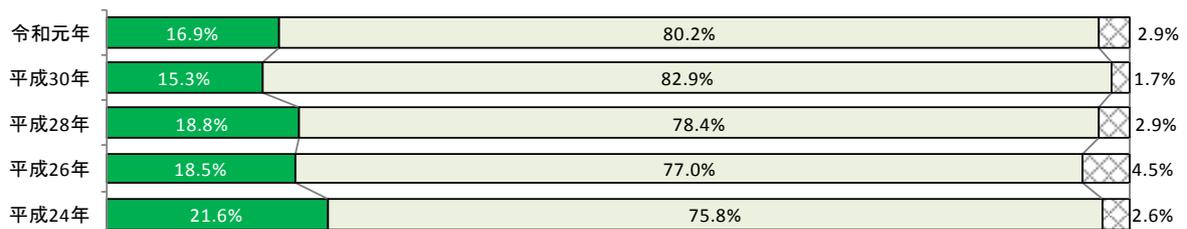
①現在、持病により定期的に医療機関を利用している



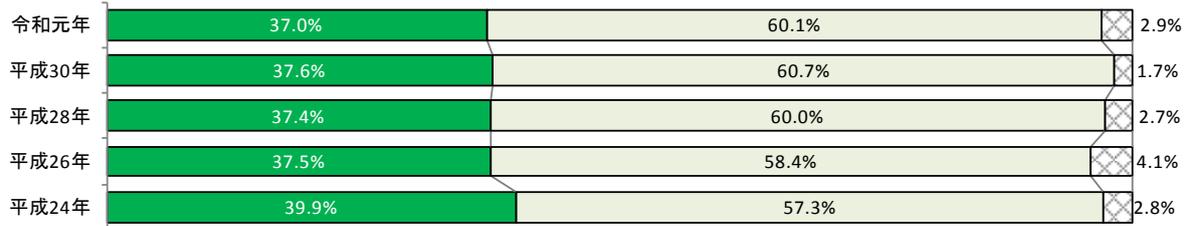
②かかりつけの医師がいる



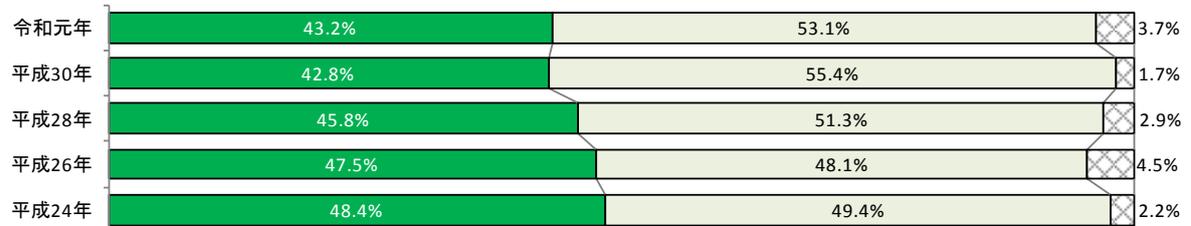
③生まれてからこれまで「けが」で1週間以上入院した経験がある



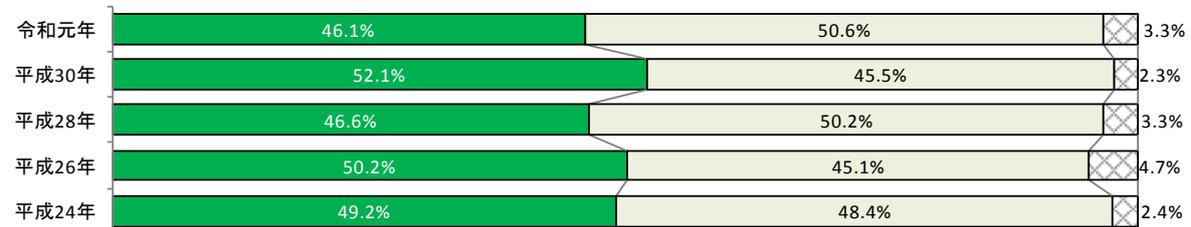
④生まれてからこれまで「病気」で1週間以上入院した経験がある



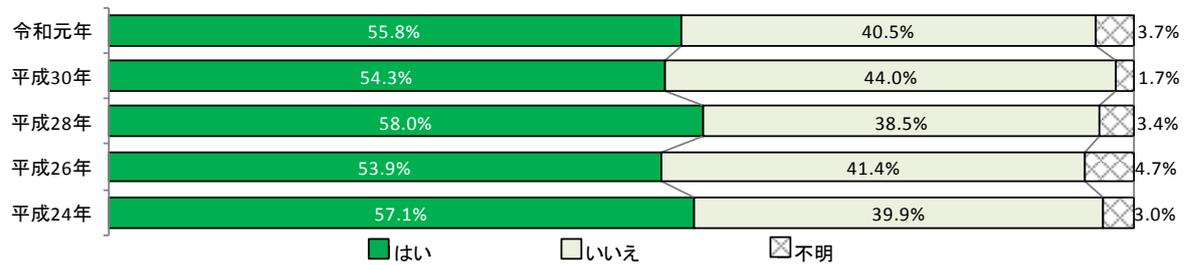
⑤自分なりの健康法をもっている



⑥新しい健康情報や知識を、日々の暮らしで試してみる方である



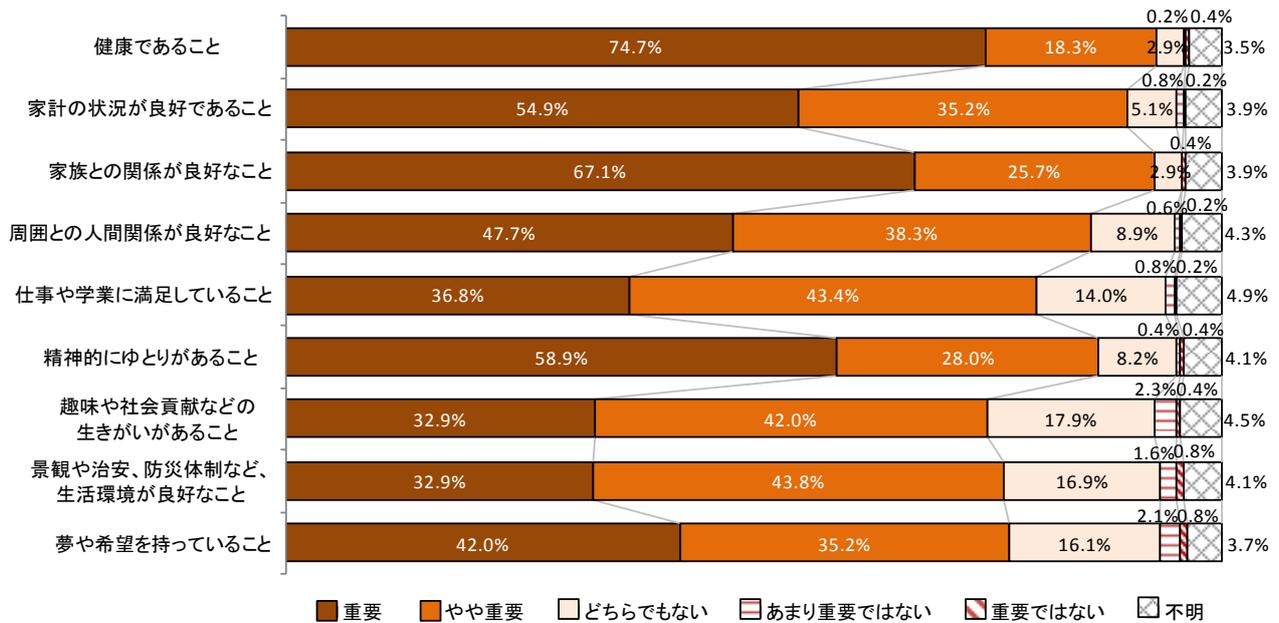
⑦「これが私の生きがい」といえるものがある



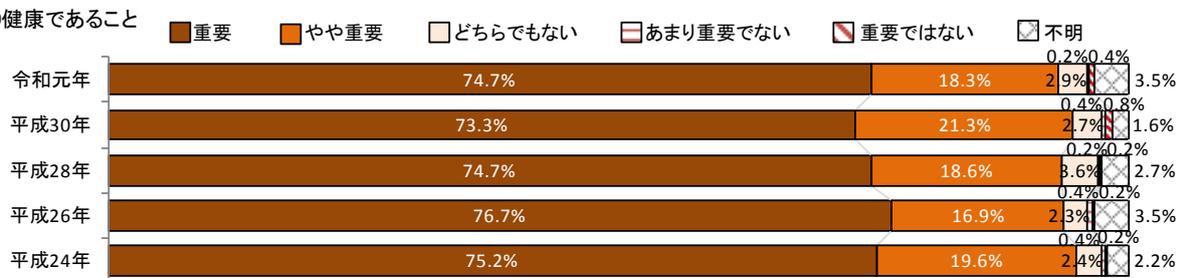
## 幸福感を判断するとき重要なこと

幸福感を判断するとき重要なこととは何か、9項目で尋ねた。「重要」と「やや重要」の合計が最も高かったのは「健康であること」の93.0%で、次いで「家族との関係が良好なこと」が92.8%、「家計の状況が良好であること」が90.1%で、3項目が9割を超えた。

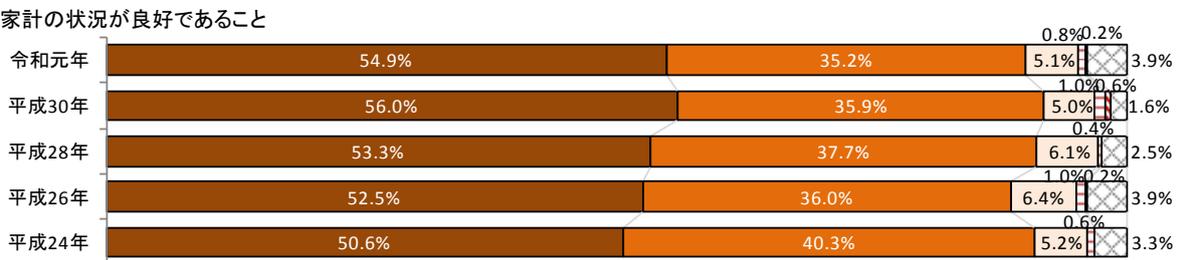
前回調査と比べると、「趣味や社会貢献などの生きがいがあること」が5.7ポイント、「精神的にゆとりがあること」が5.2ポイント減少している。



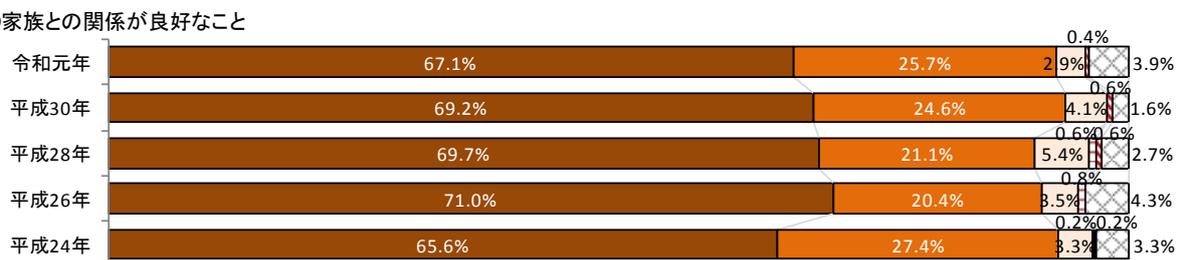
### ①健康であること



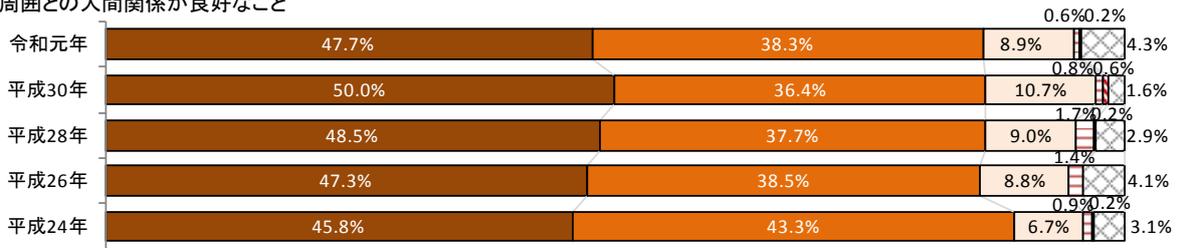
### ②家計の状況が良好であること



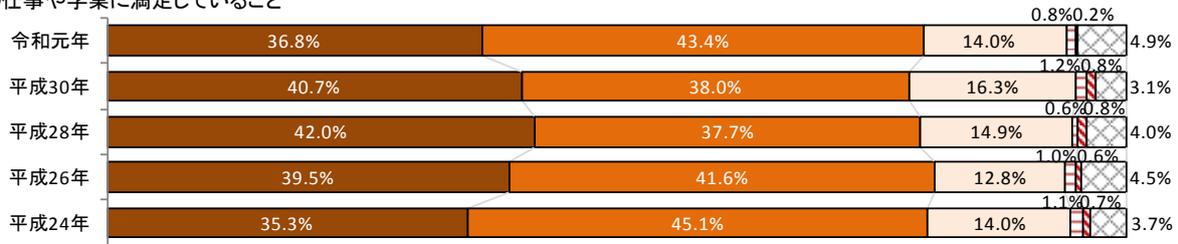
### ③家族との関係が良好なこと



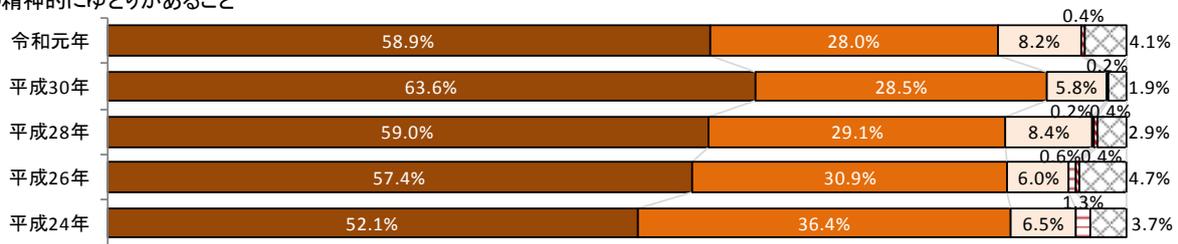
④周囲との人間関係が良好なこと



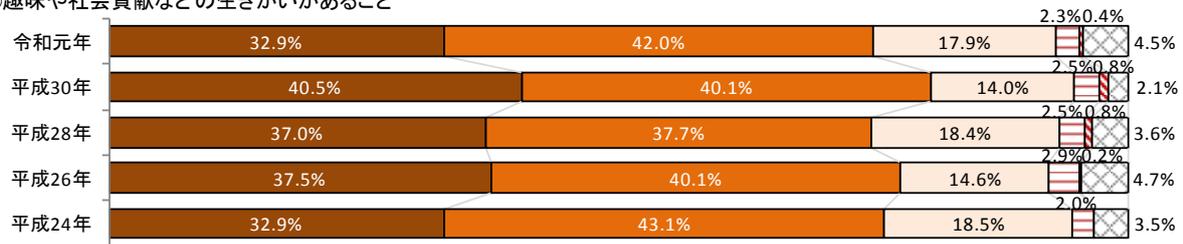
⑤仕事や学業に満足していること



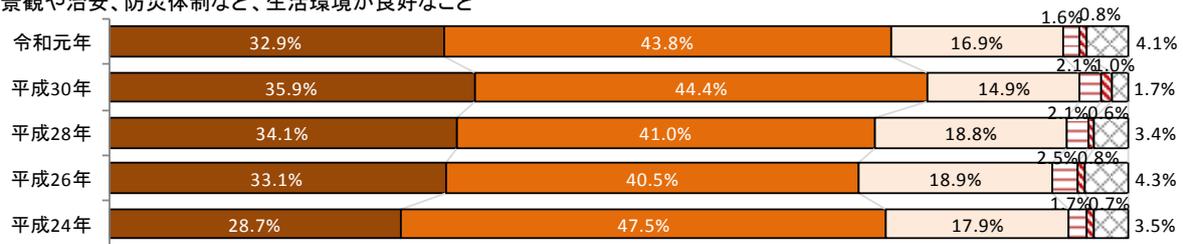
⑥精神的にゆとりがあること



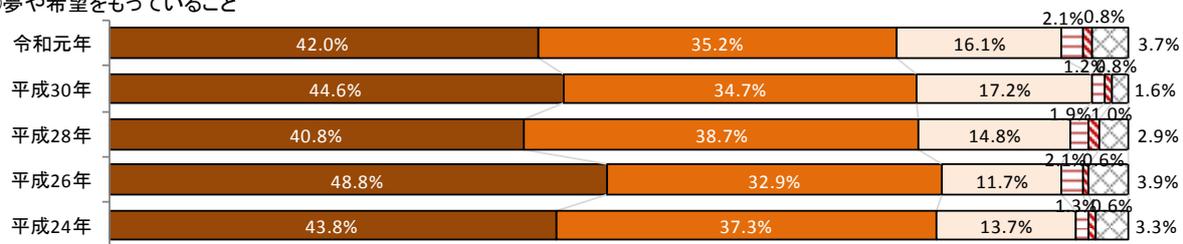
⑦趣味や社会貢献などの生きがいがあること



⑧景観や治安、防災体制など、生活環境が良好なこと



⑨夢や希望をもっていること



■重要    ■やや重要    □どちらでもない    □あまり重要でない    □重要ではない    □不明

## 幸福感

現在幸せだと思うか聞いたところ「大いに思う」は13.0%で、「思う」の54.5%と合わせて67.5%。前回調査より5.0ポイント低く、過去4回調査も含めて最も低かった。「思わない」は2.7%、「あまり思わない」は5.1%。

